

## 第93回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

2002年5月中旬以降の全国の火山活動状況は以下のとおりです。

三宅島では、依然として山頂火口から二酸化硫黄を多量に含む火山ガスが放出され続けていますが、その量は減少してきています。別紙のとおり統一見解を発表しました。

樽前山、浅間山では、熱的活動が活発な状態となっています。

これらの火山では、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

岩手山では、地震活動、地殻変動、噴気活動ともに低下しています。

### 1. 北海道地方

#### 1) 雌阿寒岳

- ・7月15～16日に小さな地震がやや増加するなど、時折、地震活動の活発化が見られます。
- ・ボンマチネシリ96-1火口は高温の状態が続いています。火口温度はやや低下傾向に、噴煙活動も弱まる傾向にあります。火口の熱的活動の低下を示すと考えられる全磁力の変化も観測されています。
- ・地殻変動には特に変化はありませんでした。

#### 2) 十勝岳

- ・9月22日に振幅の小さな火山性微動がありました。
- ・62-2火口は高温で活発な噴煙活動が続くなど、火山活動が高い状態となっています。
- ・地殻変動には特に変化はありませんでした。

#### 3) 樽前山

- ・A火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっています。

#### 4) 有珠山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

#### 5) 北海道駒ヶ岳

- ・7月16日に山体のやや深いところを震源とする地震が発生して、森町で震度1となりました。
- ・噴煙活動は弱く、地殻変動にも特に変化はありませんでした。

### 2. 東北地方

#### 1) 十和田

- ・7月中旬、9月下旬に微小地震の活動がありました。

#### 2) 岩手山

- ・西岩手山で発生する地震は、2001年以降、頻度も規模も小さくなり、引き続き活動は低い状態です。
- ・東岩手山では、震源が浅い地震の少ない状態が続いています。
- ・広域的には、収縮の地殻変動が観測されています。また、黒倉山付近では局所的な地殻変動が続いています。これらの変動は、いずれ鈍化しています。
- ・火山ガスの組成には、火山活動が2001年頃から低下に転じたことを示す変化が観測されています。

- ・姥倉山から黒倉山の噴気活動は、やや活発な地域もありますが、全体としては低下傾向にあります。
- ・これらのことから、火山活動は全体としては低下していると考えられます。

### 3) 吾妻山

- ・地震活動は、5月にやや活発化したほかは、穏やかに経過しました。
- ・表面活動、地殻変動には特に変化はありませんでした。

### 4) 安達太良山

- ・6月11日に沼ノ平火口北方でマグニチュード(M)2.7の地震が発生したほかは、地震活動は低い状態で推移しました。
- ・沼ノ平火口北部の地下で温度の低下が進んでいるためと見られる、地磁気の変化が観測されました。

### 5) 磐梯山

- ・6月と8月にM2を超える地震が発生するなど、地震活動が一時的にやや活発化しました。
- ・山体北側の火口壁から噴気が上がっているのが、引き続き、時折観測されています。
- ・地殻変動には、特に変化は認められません。

## 3. 関東・中部地方

### 1) 那須岳

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

### 2) 草津白根山

- ・8月29日から30日にかけて、地震活動がやや活発化しました。

### 3) 浅間山

- ・2000年9月以降、地震活動はやや活発な状態が続いています。
- ・今年5月頃から、噴煙活動がやや活発になり、火口の温度も高い状態になっています。7月と8月には一日あたり2000トンを超える二酸化硫黄の放出量が観測されました。

### 4) 御嶽山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

### 5) 箱根山

- ・8月25日から29日にかけて、地震活動がやや乱発化しました。

### 6) 富士山

- ・2001年6月以降、引き続き、低周波地震の回数が少ない状態です。

### 7) 伊豆東部火山群

- ・地震活動は、5月8日から13日においてやや活発化しましたが、その後は落ち着いた状態で経過しています。

### 8) 伊豆大島

- ・6月と7月に、島の西側を震源とする地震活動がやや活発化しました。
- ・表面現象には特に変化はありません。
- ・山体膨張の地殻変動が続いています。

### 9) 三宅島

- ・別紙のとおり統一見解を発表しました。

### 10) 八丈島

- ・8月13日から活発化した地震活動は下旬には低調となり、9月以降は落ち着いた状態で経過しています。

### 11) 伊豆鳥島

- ・8月8日以降、硫黄山山頂付近から白色噴煙が目撃され、10日から14日にかけてスコリア噴出を含む噴火をしました。伊豆鳥島で噴火が確認されたのは、1939年(昭和14年)以来です。

#### 4. 九州地方

##### 1) 九重山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

##### 2) 阿蘇山

- ・中岳第一火口では、表面活動、地震活動ともやや活発な状態です。
- ・中岳第一火口は、全面湯だまり状態が続いています。南側火口壁下の赤熱現象は、継続しています。
- ・8月5～20日と9月5～9日に孤立型微動が一時的に多発しました。
- ・噴煙活動には、特に変化はありません。

##### 3) 雲仙岳

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

##### 4) 霧島山

- ・御鉢付近で火山性微動が時折発生しました。6月27日と7月22～23日には、火山性微動の発生直後に火山性地震が一時的に増加しました。
- ・表面現象、地殻変動には特に変化はありませんでした。

##### 5) 桜島

- ・南岳の噴火の規模は比較的小さく、回数も降灰量も少ない状態でした。
- ・南岳の爆発回数は、5月と7月に1回、8月に2回で、6月と9月には爆発はありませんでした。

##### 6) 開聞岳

- ・地震活動に特別な変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

##### 7) 薩摩硫黄島

- ・浅部での地震活動は、引き続き活発な状態です。
- ・5月中旬から6月中旬に火山性地震が多発し、連続的な火山性微動も発生するなど、火山活動が一時活発な状態になりました。
- ・5月中旬から7月にかけては灰色の噴煙が確認され、また、島内での降灰も時折観測されました。

##### 8) 口永良部島

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

##### 9) 中之島

- ・地震活動に特別な変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

##### 10) 諏訪之瀬島

- ・2000年から活発化した火山活動が継続しています。5月から10月の各月にそれぞれ時折、噴火がありました。
- ・8月19～23日にかけて、大きな空振を伴った連続的な噴火が発生しました。この噴火により、諏訪之瀬島の南約140kmの名瀬市でも弱い降灰がありました。

#### 5. 海底火山

- ・特異事象や変色海域が確認された海底火山はありませんでした。